ライフスタイルデザイン部門 | ビジネスモデル　入賞4

日本の森から生まれたアロマyuicaで、人も森も健康に!／東京都

正プラス株式会社（東京）、株式会社藤波タオルサービス（東京）、ナイス株式会社（神奈川）、飛騨の地域森林資源を活用する会（岐阜）、昭和大学薬学部 荒川研究室（東京）

概要
「日本の森から生まれたアロマ=yuica」の入った製品は、人の健康や美容に寄与する多くのエビデンスを持っている。yuicaの精油やアロマウォーターの素となる素材は、主に林地残材や間伐材であり「森の再生」や「地方創生」にも役立っている。森と人の健康に結びつくyuicaで新しい生活習慣を生み出そう。

【体験・入手方法・概要サイト】http://www.sei-plus.com/　http://yuica.com/　各種のイベント会場・デパート　Facebook https://www.facebook.com/sei.plus/?fref=ts（正プラス株式会社）　Facebook https://www.facebook.com/tadashi.inamoto.5?fref=ts（稲本正）　Twitter https://twitter.com/yuica_aroma（正プラス株式会社）

評価ポイント　林地残材活用と地域雇用促進を同時に満たし、森の素材から抽出した精油やアロマウォーターで消費者の健康と美容に寄与する、というビジネスモデルとして評価した。暮らしと森林の関わりに新たなカテゴリを拓く。

ライフスタイルデザイン部門 | イベント・ワークショップ（継続）　入賞1

多賀木匠塾／滋賀県

一般社団法人地域再生プロジェクト みなおし（滋賀）

概要
地域産の木を使ったやさしい空間を創っています。人口8000人弱の小さな町の保育園・幼稚園・その他公共施設に制作した作品は、広く町民の方々に親しまれています。

【体験・入手方法】塾長 中西茂行まで連絡　【費用】15,000～20,000円/人

評価ポイント　滋賀県多賀町をフィールドとして、地域の森林資源を使った木製遊具などの制作活動を行なう木匠塾のひとつ。幼稚園・保育園・小学校での木工体験などを実施、それが認められ大学のカリキュラムに組み込まれるなど、活動の広がりを見せている。

ライフスタイルデザイン部門 | ビジネスモデル　入賞5

木ノベーション／東京都

岡庭建設株式会社 おかにわリフォーム工房（東京）

概要
“安心”設計力、素材にこだわり、住まいの提案から技術力、保証までトータルにカバー。“家まもり”　これまで培ってきた技術力で、お家のかかりつけ医を担います。“自然素材”　木にこだわり、太陽、風、光、影を大切にした暮らし。自然の力をできるだけ生かした持続的な暮らしの提案。

【体験・入手方法】岡庭建設株式会社 おかにわリフォーム工房　【概要サイト】http://www.okaniwa.jp/kinnovationstudio/

評価ポイント　国産の木、自然素材を使い、熟練の職人の手仕事で施すリノベーションのビジネスモデル。木の効能、機能や暮らしや住宅と木のつながりも重要なコンテンツと位置付け、消費者視点での提案を行なっている。

ライフスタイルデザイン部門 | 普及・啓発（ツール・メディア）　入賞2

お木づかいペーパー／静岡県

チームお木づかい（静岡）

概要
天竜材の利用促進を図る新しい宣伝媒体「お木づかいペーパー」。「木をつかうことに気をつかう」というのがプロジェクトのコンセプトである。天竜材についてのイラストを印字し、トイレットペーパーは生活必需品であるという点から、幅広い世代への天竜材認知度向上を図る。今こそあなたのお木づかい!

【体験・入手方法】電子メールで注文受付 paper_hamamatsu@yahoo.co.jp　【費用】トイレットペーパー1ロール100円で販売

評価ポイント　生活必需品のトイレットペーパーをメディアとして活用するアイデアは面白い。視覚だけでなくヒノキの香りをつけ、森林のイメージを喚起するなど、細部への工夫があり、地域の森林資源理解に対する取り組みとしてはオリジナリティがある。

ライフスタイルデザイン部門 | 仕組み・ネットワーク（生産ー加工ー流通ー販売をつなぐもの）　入賞6

北陸型木の住まい研究会／富山県

ウッドリンク株式会社（富山）

概要
「北陸型木の住まい研究会」は北陸地域の工務店約160社で構成された、北陸地域の気候風土に最適な北陸型木の住まいを研究・提案している組織で、『地域型住宅のブランド化』に向けた取組を積極的に展開しています。独自のスキームで北陸型木の住まいを普及させ、国産材使用量増加、地域産業活性化などへ貢献しています。

【体験・入手方法】ウッドリンクラボご見学は、HP・FAXでの見学申し込み。その他問い合わせは、事務局のウッドリンクへ。【費用】地域工務店入会費 12,000円/年ウッドリンクラボご見学は無料　【概要サイト】http://www.hokuriku-kinosumai.com/　http://www.prewall.jp/factory/

評価ポイント　製材工場がラボを持っているケースは珍しく、社会的意義がある。展示のみならず、パートナーシップづくりや消費者へのコミュニケーションなど「北陸型住まい」のソリューション提案のワンストップ・ビジネスモデルと言える。

ライフスタイルデザイン部門 | ビジネスモデル　入賞3

家族と共に育つ家具／キッズファニチャープロジェクト／東京都

住友林業株式会社（東京）、株式会社ボーネルンド（東京）、株式会社キシル（静岡）

概要
【住まい創りの《プロ》住友林業】×【子供のあそび提案の《プロ》ボーネルンド】×【日本の木で創る家具の《プロ》キシル】の夢のコラボ!

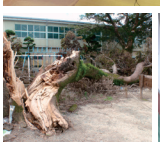
【体験・入手方法】今後発売予定

評価ポイント　異なる3つの業種が協働して、国産材にこだわりリビングダイニング等にも置ける、子供の頃から大人になるまで使い続ける家具開発のプロジェクト。百年の計である森林と子どもの成長を読み込んだ継続的なモデルとしてアウトプットに期待したい。

ハートフルデザイン部門 | 普及・啓発（ツール・メディア）　入賞10

「『おおえのき』100年復活計画」命をつなぐプロジェクト／熊本県

熊本県森林組合連合会（熊本）、農林中央金庫福岡支店（福岡）、菊池森林組合（熊本）、熊本大学教育学部（熊本）



概要
台風で倒れた「おおえのき」の思い出を大切にするとともに、木の果たす役割や木材の素晴らしさを子ども達に伝える木育授業を実施し、並行して、思い出の「おおえのき」に子ども達が触れることができるようにと、ストラップや机などの製作を行った。 今後も学校の木や市町村木、県木などを用い木に親しむ機会を増やしたい。

【体験・入手方法】学校単位で木に触れ、木のぬくもり暖かさを木育、制作を通じ体験。 【費用】農林中央金庫助成 1,000,000円

評価ポイント 自然災害で倒れたおおえのきを、通常は廃棄されるところを捨てずに活用、木育のコミュニケーションツールとして価値を与えた点を評価。大学生の参加など幅広い関係者を巻き込んだ、地域木育の先導的なモデルと言える。

ハートフルデザイン部門 | イベント・ワークショップ（継続）　入賞7

クリスマスツリー植林／東京都

公益財団法人PHOENIX（東京）

概要
12月に北海道よりクリスマスツリー（アカエゾマツ苗木）をご家庭や職場にお届けし、お楽しみいただきます。クリスマス終了後、北海道へ戻し、5月下旬に開催する植林祭で、地球に返却(植林)します。森林育林を身近なものと認識し、活動を通してCO_削減にも貢献できる誰でもご参加いただける活動です。

【体験・入手方法】木材・合板博物館〈公益財団法人PHOENIX〉（東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー4F） 【費用】クリスマスツリー（アカエゾマツ苗木）5,000円（苗木代、往復送料込）植林祭参加費（昼食付）5,000円 /（昼食なし）2,000円 【概要サイト】http://www.woodmuseum.jp/xmastree/index.html

評価ポイント 季節行事と森林教育、木育を組み合わせ、かつ1年間の時間軸に則った良質なプログラムである。コミュニケーション・ツールのデザインをさらに磨けば、より参画のアピールにつながるだろう。

ハートフルデザイン部門 | 普及・啓発（ツール・メディア）　入賞11

世界で1つの「じぶん時計」／静岡県

株式会社キシル（静岡）

概要
お子さまの書いた文字をそのまま文字盤に刻印したオリジナルの掛時計。机購入者への特典として年間約1500人、延べ約5500人のお客さまにお贈りしました。文字盤には自社工場で机を製作する時に出る「あまり木」を利用。直筆の文字を刻印した時計は、毎日の時を刻みながら色つやを深め、お子さまの成長を見守ります。

【体験・入手方法】1回のご注文でキシル商品を5万円以上(税込)お買い上げの方全員に申込用紙を進呈。デザインを自由に記入後、店舗または郵送にて受付。キシル南工場で加工し、おおむね1～2ヶ月後にお客さまのもとにお届けする。 【費用】無料 【概要サイト】http://www.xyl.jp/html/my_clock.html#!page1

評価ポイント 自分で書いた文字が、あまり木を使った木製時計に刻印される参加型プログラム。木をモチーフにした創作活動としてトータルなデザイン力がある。

ハートフルデザイン部門 | イベント・ワークショップ（継続）　入賞8

Akita-sugiプロジェクト／秋田県

Akitaコドモの森（秋田）、株式会社ラウンドテーブル（秋田）、秋田杉プロデュースAAREA（秋田）、視覚伝達工房サイン・プロ（秋田）、イーワンホーム株式会社（秋田）

概要
森林資源を持て余している秋田だからこそ、木材を上手に使って元気な森を育てていく―秋田杉を通して、森も木材資源も人財も地域社会も、みんなが無駄なく元気に循環できる「サーキュラー・エコノミー(循環型経済)」を目指しています。少子高齢人口減少が進む秋田をAkita-sugiプロジェクトが元気にします!

【体験・入手方法】秋田県内の希望する幼稚園・保育園・子育て交流広場などで県産樹木の玩具で遊んだり、秋田の自然や森についての簡単なお話をする。またより広く活動を広めるため、子供や子育て世代の家族が集まるイベントに積極的に参加し、同様の活動を行う。 【概要サイト】http://akitasugi.wixsite.com/project

評価ポイント 昨年から始まった「Akita-sugiこどもきやらばん」事業が浸透、拡大している点を評価した。プロジェクトを推進するメンバーが県内の職人や現役の子育てママである点も、地域の森や木と暮らし、ビジネスがつながっていることを示す良い仕組みである。

ハートフルデザイン部門 | 仕組み・ネットワーク（生産―加工―流通―販売をつなぐもの）　入賞12

「てまひま」天然乾燥木材の住まいづくり／熊本県

新産住拓株式会社（熊本）、多良木プレカット協同組合（熊本）、エコワークス株式会社（福岡）、株式会社すまい工房（熊本）

概要
新産住拓と林業家、製材所や木材市場・林業関係者と出会いにより、独自の国産材流通システムを構築。人吉・多良木の木材乾燥センターでは約71,000㎡の敷地に23,000㎥の木材をストック、1～2年かけてゆっくりと天然乾燥。「天然乾燥木材」の更なる安定供給とそれを使った住まいづくりを実現。

【体験・入手方法】新産住拓株式会社へ問い合わせ 【費用】住宅建築ご検討中の方、木材に関心がある方の山ツアー、プレカット工場見学等は無料。住宅建築は、有料。 【概要サイト】http://www.shinsan.com/

評価ポイント 住宅、林業家、製材所が連携、流通に関わり年間工事計画とそれに伴う仕入れと安定供給を仕組みにした、木材バリューチェーンの良質な取組。天然乾燥木材の持つ特性が木の健康効果や癒し効果を発揮するため、ユーザーメリットも高まる。

ハートフルデザイン部門 | 普及・啓発（システム）　入賞9

既存樹利用プロジェクト～Ibuki～／東京都

帝国器材株式会社（東京）

概要
「既存樹利用プロジェクト」は学校の増設などで伐採・廃棄されてきた木々をトレーサビリティの確立された管理のもと、教育や地域交流の場へ様々なかたちに生まれ変える提案をします。子どもたちの「ものを大切にする心」を育み、先生方や地域の方々の記憶を通じ学校の歴史を繋ぐ一助になると考えています。

【体験・入手方法】木製部分に改築前の学校に植樹してあった木々のみを利用して製品化。 【費用】1,500,000円（壁面レリーフの価格） 【概要サイト】http://www.teikokukizai.co.jp

評価ポイント 伐採された慣れ親しんだ学校敷地内の木を、新たな形で生まれ変わらせ、地域へ戻す活動。森林資源活用の流れはなかなか目の当たりにする機会が少ないなか、親しみのある木を入り口にして、木を切ること、使うことの意味を伝えてくれる。

ソーシャルデザイン部門 | イベント・ワークショップ（単発）　入賞16

KEESの森で過ごす一日／長野県

KEESプロジェクト（長野）、西地区環境整備隊（長野）、伊那市商工会議所（長野）、こうあ木工舎（長野）、信州大学農学部（長野）、上伊那農業高校（長野）

概要
KEESの森で過ごす一日は、間伐材を使った木製品KEESシリーズがどのようにして、製品になるかを体験するとともに、森の心地よさを味わってもらうイベントです。知る、遊ぶ、食べる、火を囲む、ステージ、くつろぐ、間伐見学エリアがあり、メーンの間伐見学では、大きな木が倒れる瞬間を五感で味わいます。

【体験・入手方法・概要サイト】KEESプロジェクト事務局キーズプロジェクト（長野県伊那市荒井25 ワイルドツリー内）k.hiraga@bekkoame.ne.jp　https://www.facebook.com/keesproject/　【費用】参加費200円

評価ポイント　間伐材利用の製品の成り立ちをさまざまなプログラムを通じて伝える意義ある取組。多彩な関係者の参画により、地域の森へ改めて目を向け、関心を高めてもらいたいという工夫が随所に見て取れる。

ハートフルデザイン部門 | 仕組み・ネットワーク（生産ー加工ー流通ー販売をつなぐもの）　入賞13

Forest on the Sea／大阪府

SAKUWOOD認証協議会（大阪）、LEI SARF DESIGNS（神奈川）、NPO法人もりずむ（三重）、株式会社Andeco（大阪）

概要
海に浮かぶ森。木のサーフボードを海に浮かべると、それはまるで地球の上に浮かぶ森林率66%の日本列島のようです。このサーフボードにまたがり、海の上で森に思いを馳せると、「森は海の恋人」であることを、あらためて思い出させてくれます。かつて船材として盛んに利用された杉の新たな船出です。

【体験・入手方法】LEI SARF DESIGNSにて、サーフボードを保管中。木のサーフボードの実物を見たり、それでのサーフ体験をする場合は、要相談。　【費用】製作にいたるまでの企画・調査費100万円　サーフボード製作実費 100万円　サーフボードでの海での撮影など 50万円　【概要サイト】http://newswitch.jp/p/4963

評価ポイント　マリンスポーツと木材利用の接点を構築した独創的かつ社会提案性ある活動。若い世代や森と関わりの少ない層へサーフカルチャーを通じて啓発する。森と海とつなぐ新視点がハートフルデザインにふさわしい。

ソーシャルデザイン部門 | イベント・ワークショップ（継続）　入賞17

きまつり〜森と木に包まれる夏〜／神奈川県

きまつり実行委員会（神奈川）、小田原市森林組合（神奈川県）、小田原地区木材業協同組合（神奈川）、一般社団法人箱根物産連合会（神奈川）、フォレストアドベンチャー小田原（神奈川）、小田原こどもの森公園わんぱくらんど（神奈川）

概要
きまつりでは木育授業に始まり、きこりの指導による間伐体験を行い、製材所の見学後、木工体験をし、川上〜川中〜川下の流れを森の中で実感できる、「森林体験ツアー」を中心に、「森を駆け抜けろ！MTB体験ツアー」や「森林ナイトハイク」など、森や木を五感で味わえるきまつりならではの催しを多数実施しています。

【体験・入手方法】きまつり実行委員会（小田原市農政課内事務局）　【費用】基本参加費無料 各種アクティビティへ参加する際は有料（100円〜4,000円）　【概要サイト】平成28年度実施のお知らせ http://www.city.odawara.kanagawa.jp/municipality/industry/agricult/forest/summerfestival_h28.html

評価ポイント　多様な事業者の参画によって、数多くのアクティビティを提供している取組。特に森から丸太、木材、木製品、暮らしへとつながる一連の流れを伝えるプログラムは日常生活において木づかいを再認識させる契機になるもの。

ハートフルデザイン部門 | その他　入賞14

みんなで木木（もくもく）おもいでづくりプロジェクト／熊本県

熊本ものづくり塾（熊本）、全国ものづくり塾八代支部（熊本）、匠の泉（熊本）、全国ものづくり塾（熊本）

概要
木木（もくもく）おもいでづくりプロジェクトは親子や友だち、先生と一緒にものづくり（積木づくり）を通して思い出づくりと楽しく木の特性や利点、使用する道具の使い方を学びより身近な素材として木材を理解し自分達で遊ぶ積木を製作します。また、長く遊びながら活用する事で木のメンテナンスの方法を学ぶ事が可能です。

【体験・入手方法】熊本ものづくり塾 メールアドレス ems.monodukuri@gmail.com　【費用】不要　【概要サイト】https://www.facebook.com/全国ものづくり塾八代支部-3975075737866351

評価ポイント　昨年受賞のプロジェクトがさらに発展、進化している点を評価した。県内の保育園、幼稚園で参加者数は親子合わせ1,000人という規模になり、積木のワークショップイベントのみならず木育推進員養成など多面的な展開が継続されている。

ソーシャルデザイン部門 | イベント・ワークショップ（継続）　入賞18

まちなか木育ベビーサロン　はんのうきときとひろば／埼玉県

ねんりんワークス（埼玉）、株式会社ハンモク（埼玉）、有限会社シミズ工務店（埼玉）

概要
木育をテーマにした、赤ちゃんのための遊び場です。桜の木と川のせせらぎが聞こえる日本家屋のなつかしい空間の中で、上質な国産材のおもちゃで自由時間。ママが作るおもちゃ作りワークショップも好評です。木で世界を描く楽しさと、木が奏でる音の美しさと、木でモノをつくる喜びを。そんな感覚の発見をお楽しみください。

【体験・入手方法】開催時間にご自由にご来場ください。（予約不要・ワークショップ予約優先）　【費用】利用料200円（大人ひとり＋子ども3人まで）ワークショップ100〜500円程度　【概要サイト】http://hannokitokitohiroba.jimdo.com/

評価ポイント　昨年受賞の取組で、ワークショップや遊具が充実し、90回もの開催を実現している継続性を評価した。地元材の普及、活用と子育てをつなぐ新たなアイデアが今後も多様な参画者と生まれてくることを期待する。

ソーシャルデザイン部門 | イベント・ワークショップ（単発）　入賞15

木組みで秘密基地を作ろう〜小さな大工さん〜／群馬県

有限会社宮島工務店（群馬）、NPOキッズバレイ（群馬）、株式会社前林（群馬）、有限会社プレス（群馬）

概要
子供達が小さな大工さんになって1坪ほどの秘密基地をつくりました。地元の無垢の木に触れて、伝統的な木組みで、楽しい体験の中で、古き良き日本の家造りを学び、木や森を大切にする使うことを学びました。子供達の真剣な表情や笑顔を見ていると、どんな担い手になってくれるか将来が楽しみです。

【体験・入手方法】NPO法人キッズバレイ きりゅうアフタースクール　【費用】1,000円　【概要サイト】http://kids-valley.org/blog/post-6229/

評価ポイント　地元材の杉や檜を用い、伝統構法で組立・解体が容易な部材を開発して、子供たちが切り妻屋根の秘密基地をつくるワークショップ。無垢材の特徴や森の現状、木組みの強さや大工の仕事など複層的な学びにつながっている。

ソーシャルデザイン部門 | イベント・ワークショップ（継続） 入賞22

子どもと森を繋ぐ　巣箱プロジェクト／東京都

積水ハウス株式会社（東京）

概要
環境学習の一環として、保育園・幼稚園・小学校を対象に「巣箱作り」をスタート。紙芝居も合わせて実施し、巣箱作りを通じて森や生き物への理解をより深める工夫を取り入れています。巣箱の材料には、岩手県宮古市の材木店から間伐材を取り寄せて使用し、森林の適正管理に貢献するとともに、東北経済復興にも繋げています。

【体験・入手方法】積水ハウスの支店で不定期で実施　【費用】なし

評価ポイント　巣箱作りを通じて生物多様性や森の大切さを伝える活動。巣箱は自宅の庭へ設置して、地域の鳥たちを呼ぶ。震災復興や林業地域活性化の側面を持ちながら、木材調達と木育イベントをつなぐ仕組みがうまく構築されている。

ソーシャルデザイン部門 | イベント・ワークショップ（継続） 入賞19

木づかいproject 学生20人のアイデア! 道南杉とトドマツの手づくり品／北海道

北海道芸術デザイン専門学校（北海道）、株式会社ハルキ（北海道）、北海道渡島総合振興局（北海道）

概要
“手づくりしてできたものは地域材と人をつなぐコトになりました”材料を生かし、制作する。感じたことは、産地や地材との精神的な距離がものすごく縮まること。人がもっと地材の良さに木(気)づけば、循環する自然資源の見つめ方に良い働きを持つという確信。学生が地材利用拡大を提案する新しい発信のかたち。

【体験・入手方法】北海道芸術デザイン専門学校 クラフトデザイン専攻　【費用】展示は無料、販売品は100円から3,000円までの価格帯

評価ポイント　クラフトデザインを学ぶ学生が地域材活用を提案し、木製品や家具、造形物を制作する。地域材と作り手の距離を縮めることが何よりも木を使うことの良さ、大切さの説得力を持つという指摘は重要である。

ソーシャルデザイン部門 | イベント・ワークショップ（継続） 入賞23

狙撃王グランプリ／千葉県

森のスポーツパチンコ協会（千葉）、一般社団法人もりびと（千葉）

概要
子どもから大人まで男女一緒に競技ができる。間伐材・木の実を使った地域活性の新スポーツとして各地に展開し競技人口を増やし全国大会を開催する。森林整備で排出される間伐材を活用する目的で発案・製作したゴムパチンコを使った競技会。アーチェリーのように的を狙い得点を競う、玉はくぬぎのどんぐりが公式球。

【体験・入手方法】当協会が年2回（春・秋）に開催　【費用】競技会参加費 1,000円　ゴムパチンコ作りワークショップ 大会価格：1,000円（通常：1,500円）　【概要サイト】www.moripachi.net

評価ポイント　森にある身近な素材を使って、スポーツや競技会にするという、日本全国どこの地域でも実施可能な面白いプログラムである。今後の広がりへ向けてどのような演出をしていくのか楽しみである。

ソーシャルデザイン部門 | イベント・ワークショップ（継続） 入賞20

OGAkKO Art／大阪府

にしもく合同会社（大阪）、有限会社丸大製材所（岡山）、ターナー色彩株式会社（大阪）

概要
製材をする際に大量に発生するおが粉が、伝統的な染色方法や木自体が持つ色を活かして、様々な色のOGAkKOとして利用し、木板などのキャンバスに描くことで、エコでユニークなアートの一つとして利用することができる。そして、描くために利用することで、身近な木材に触れる機会となる。

【体験・入手方法】にしもく合同会社 http://www.nisimoku.co.jp/　wood@nisimoku.co.jp
【費用】描く土台となる木板によって値段が変動し、小さなキーホルダータイプで200円、もくきゃんばすと呼ばれる木板が小・中・大と3種類あり、それぞれ300円・500円・1000円

評価ポイント　素材自体の面白さが目を引き、子どもたちが喜びそうなプログラムである。ありそうでなかった木とアートの組み合わせで、木に触れてもらうためのアイデアとしてわかりやすさがあって良い。

ソーシャルデザイン部門 | イベント・ワークショップ（継続） 入賞24

箸づくしキット（レンタルBOX）／大分県

株式会社九州ダイト（大分）、学校法人飯塚学園 飯塚日新館小学校（福岡）、特定非営利活動法人子育て支援機構（福岡）

概要
箸作りに必要なセットをコンパクトにBOX化、全国に発送レンタルする仕組み。BOXにしたことで、場所を選ばなくても良く、BOXのフタをひっくり返して治具をスライドして使うことで、普通の箸から治具を交換して、多角形の箸も作れる。箸材の桧は、県産材を購入、加工。木育インストラクターの仲間やNPO子育て支援を通して貸し出しをしている。

【体験・入手方法】http://www.kyushudaito.co.jp 各種木育イベント会場 1BOX ゆうパック110サイズ　【費用】一週間レンタル料金1BOX 14,000円送料別途（桧はし50膳込み）　【概要サイト】www.facebook.com/kyushudaito

評価ポイント　自分でつくった箸を学校給食で使う動きにつながっている。コンパクトでレンタル方式にしたことで、体験の場が広がるパッケージとして評価した。

ソーシャルデザイン部門 | イベント・ワークショップ（継続） 入賞21

ひょうご木づかい王国学校／兵庫県

兵庫県木材業協同組合連合会（兵庫）

概要
都市部の大型商業施設「神戸ハーバーランド」内にある木材利用拡大普及拠点施設。誰もが気軽に訪れ、心地よいスギの床に座って、木のあたたかさ、やわらかさを肌で感じ、親子で目線を合わせて木のおもちゃで遊ぶことができる。ワークショップやイベントを通じて、木造住宅や木のある暮らしの情報を発信している。

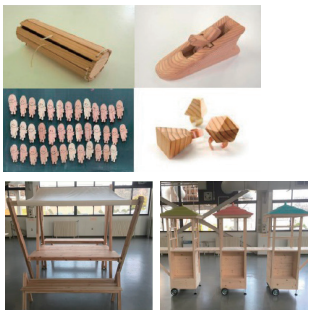
【体験・入手方法】神戸ハーバーランド umie MOSAIC（ウミエ モザイク）2階（兵庫県神戸市中央区東川崎町1丁目6番1号）　【費用】入場無料　【概要サイト】http://kidukaioukoku.net/

評価ポイント　都市部における木材利用の情報発信、体験拠点として良質な取組で、親子で遊び学べる施設になっている。木づかいに関するワンストップ窓口は、体験の一過性に留まらずに暮らしと木の接点を考える良い仕組み。

ソーシャルデザイン部門 | 普及・啓発（システム）　入賞28

みんなですすめる木づかいプロジェクト！／北海道

北海道渡島総合振興局（北海道）、公立はこだて未来大学（北海道）、北海道芸術デザイン専門学校（北海道）、北海道立函館高等技術専門学院（北海道）、株式会社ハルキ（北海道）



概要
北海道の南に位置する渡島地方は杉（道南杉）の北限地となっているが、製材の7割は道外へと流通している。この現状について世代を超えて共有するため、地元の建築家、デザイナーなどの木づかいPTと地元学生が連携し、地域材PR用屋台を制作。北海道新幹線開業日イベントで「屋台」と「クラフト」を展示・販売した。

【体験・入手方法】地域材を活用した「屋台」「小物」（クラフト）のデザインから製作及び北海道新幹線開業日イベントに展示PR。北海道渡島総合振興局産業振興部林務課　【費用】無料　【概要サイト】http://kidukai.wp.xdomain.jp/

評価ポイント　道南スギの地域での利活用を普及を目指し、屋台やクラフトなどを制作、PRを行なっている。地域材活用、デザイン開発、人材育成の複数の効果を持つ意欲的試みであり、地域活性化や若者定住促進につながっていく。

ソーシャルデザイン部門 | イベント・ワークショップ（継続）　入賞25

KEESで遊ぼう／長野県

KEESプロジェクト（長野）、西地区環境整備隊（長野）、伊那市商工会議所（長野）、こうあ木工舎（長野）、信州大学農学部（長野）、NPO法人森の座（長野）

概要
「KEESで遊ぼう」は、信州伊那谷の間伐材アカマツから作られた組み立て多用途ブロック「KEES」、「KEESミニ」を使って、ブロックあそびの他家具なども作れる木育広場です。月2回以上のペースで開催し「地域の木を使うのが当たり前」、「地域の木が資源であること」への気づきを促し、地元愛を醸成します。

【体験・入手方法・概要サイト】KEESプロジェクト事務局キーズプロジェクト（長野県伊那市荒井25 ワイルドツリー内）k.hiraga@bekkoame.ne.jp　https://www.facebook.com/keesproject/　【費用】なし

評価ポイント　組み立て多用途ブロックを使いブロック遊びや家具づくりができるワークショップ。開始以来、40回、2,000人の参加は素晴らしい。6歳までの幼児用も開発するなど、幅広い年齢層に対応できており、木育と創作を兼ね備えるプログラムとして面白い。

ソーシャルデザイン部門 | 普及・啓発（システム）　入賞29

WOOD TORANSFORM PROJECT／大阪府

日本木材青壮年団体連合会 防災対策委員会（東京）

概要
災害発生後、体育館などで一時避難される被災者に、ストレスの少ない木のぬくもりの空間を提供します。障害をもっている人や赤ん坊に授乳したいお母さん、あるいは元気に遊びたい子どもたちなど災害弱者のために利用できます。普段は公園や学校のフェンスとして備蓄し、組立は素人6人で約1時間でできます。

【体験・入手方法】日本木材青壮年団体連合会　【概要サイト】https://www.facebook.com/woodtransformproject/

評価ポイント　公園や学校のフェンスとして備蓄されている木製パネルを緊急時に取り外し、被災地へ搬入する空間づくりの提案。自然災害大国・日本における防災ソリューションとして、その活動、アイデアを評価した。

ソーシャルデザイン部門 | イベント・ワークショップ（継続）　入賞26

人と木をつなげるカホンつくり／愛知県

人と木をつなげるプロジェクト実行委員会（愛知）、豊田市（愛知）、カホンプロジェクト実行委員会（兵庫）、向井木材株式会社（愛知）

概要
地域材利用の方法として、木材にコミュニケーションツールとしての機能を持たせた。完成品をつかったリズムセッションでは、参加者同士の一体感が生まれ、情動的な時間の共有の中で、地域木材の魅力について共感することができた。さらに、会場までの道のりには、里山の非日常的ロケーションが観光要素も含まれる。

【体験・入手方法】とよたまちさとミライ塾2015 WEB申し込み　http://2015.toyota-miraijuku.com/　【費用】カホン1台につき5,500円 参加費は無料　【概要サイト】http://2015.toyota-miraijuku.com/programs/5590f0a377777752e4000000

評価ポイント　南米の打楽器カホンを地域材で手作りし、皆でセッションする楽しい活動。楽器というツールを使って、木を使うこと、つくること、演奏することで感性に訴えるプログラムに昇華させた。

ソーシャルデザイン部門 | 普及・啓発（システム）　入賞30

世界の職人ネットワークARTISAN日本プロジェクト／宮城県

一般社団法人ARTISAN日本（東京）、アベ・ホーム株式会社（埼玉）、株式会社ティ・エス・シー（千葉）、株式会社アイ・シー・ジー（千葉）、丸平木材株式会社（宮城）、株式会社森未来（東京）

概要
地域の木材を地域の業者が使う。かつては当たり前だった木材の地産地消がついに実現。国産材の普及に長く尽力してきた小田原健の元に、全国各地の素材生産者、製材業、工務店が集まりました。吉村順三に師事した小田原のデザインを地域の木を使い地元の職人が作る。日本の木と職人を活かすプロジェクトです。

【体験・入手方法】株式会社TSC ショールーム「家具の森」（千葉県木更津市潮浜2-6-4）【概要サイト】http://www.jawic.or.jp/case/kkyokyu5-1.php　http://woodwork.or.jp/　http://www.houzz.jp/pro/artisanjapan

評価ポイント　地域材活用や木製品、空間開発におけるデザインの関わり方、連携の重要性を示唆するプロジェクト。木材利用バリューチェーンにデザイナーやクリエイターの参画が欠かせないことを伝える良質な取組。

ソーシャルデザイン部門 | イベント・ワークショップ（継続）　入賞27

ともにつくる、ほんものを学ぶ。SLOW-Renovation／千葉県

合同会社つみき設計施工社（千葉）、和建築工房（千葉）

概要
SLOW-Renovationとは、つみき設計施工社が展開する市民参加型リノベーション&ワークショップ事業です。素材・人・場所の「出会い方」を丁寧に編集し、デザイン&施工ワークショップを開催します。6年間で110回、1470名に、本物の素材と技に触れる機会を提供してきました。

【体験・入手方法・概要サイト】ホームページ:http://tsumiki.main.jp　メール：info@tsumiki.main.jp　【費用】ワークショップ参加費は、無料～10,000円/日程度

評価ポイント　主に市川市内をフィールドに、改修現場の一部を一般市民に開き、デザイン&施工ワークショップを開く活動。市民参加型の取り組みの中でも、体験に留まらず実際の空間づくりにまで開かれている点がとても良い。

ソーシャルデザイン部門 | 普及・啓発（ツール・メディア）　入賞34

かっとばし!!シリーズ／東京都

株式会社兵左衛門（東京）

概要
プロ野球、社会人野球などで使用され折れたバットを回収し、再製品化したのが「かっとばし!!シリーズ」。売上げの一部は「NPOアオダモ資源育成の会」を通じ、アオダモの植樹、育成に使われ、未来の国産バットを作る活動に参加しています。

【体験・入手方法】兵左衛門オンラインショップ http://hyozaemon.shop-pro.jp/?mode=srh&cid=907077%2C0&keyword=　【費用】2,000円（かっとばし!!箸）　【概要サイト】http://colocal.jp/news/46020.html　http://jpbpa.net/partner/?id=1284202580-825685

評価ポイント　物語性のあるバッドの木の再利用で暮らしの中にアイテムを取り入れる、野球ファンには魅力的なものだろう。材料であるアオダモの育成に貢献する、社会提案性ある取組と言える。

ソーシャルデザイン部門 | 普及・啓発（ツール・メディア）　入賞31

ハコダケ君／北海道

ハコダケ君（北海道）、株式会社ハルキ（北海道）、パワープレイス株式会社（東京）、株式会社内田洋行北海道支店（北海道）、函館空港ビルデング株式会社（北海道）、北海道渡島総合振興局 産業振興部林務課（北海道）

概要
ハコダケ君は道南スギから生まれた地域材の伝道師です。ハコダケ君が怒れば、不法伐採が無くなります。ハコダケ君が困れば、地域材を使いたくなります。ハコダケ君が笑えば、皆が笑顔になります。合言葉はハコ！言葉の語尾には必ず「ハコ！」が付きます。北海道の森林現状の問題定義や木材利用の啓発活動に一役買います！

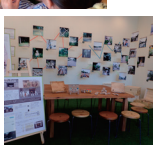
【体験・入手方法】株式会社ハルキ 企画・開発室室長 鈴木（茅部郡森町字姫川11番13）mokuiku@mori-haruki.co.jp　【概要サイト】http://www.m-sugi.com/112/m-sugi_112_tokushu02.htm

評価ポイント　地域材を活用した、ユニークな木ぐるみキャラクターによる森林に関する啓発活動。強烈なインパクトと思わず笑顔になる雰囲気で、人々の心にメッセージは残りやすいのではないだろうか。

ソーシャルデザイン部門 | プロモーション（継続）　入賞35

みなまきのみんなの木プロジェクト／神奈川県

株式会社相鉄ビルマネジメント（神奈川）、相鉄不動産株式会社（神奈川）、株式会社Andeco（大阪）、有限会社乾木工（神奈川）、木工七木（奈良）、株式会社藤田木材（京都）



概要
南万騎が原駅の再整備では、街路樹を伐採せざるを得なくなりました。そこで、これらの樹木は、地域の方々に「みなまきラボ」で、新たに活用してもらうテーブルや椅子に生まれ変わると共に、子供たちとこの木で、時計や電車を作りました。街路樹の利活用を介して、地域の方々と、新たな街づくりへ一緒に取り組みました。

【体験・入手方法】みなまきラボ（地域活動施設）にて、募集の掲示。地域広報誌にて、ワークショップの案内。　【費用】ワークショップ費 木の時計作り 500円／人、木の電車づくり 500円／人　【概要サイト】http://sotetsu-life.com/minamimakigahara/labo/

評価ポイント　地域の子どもが伐採された木を使ったワークショップを開催、創作活動を行なう地域の取組。愛着のある木が形を変え、また地域へ戻る。街とともに育ち、街を支える子どもが参画している点が素晴らしい。

ソーシャルデザイン部門 | 普及・啓発（ツール・メディア）　入賞32

KEESプロジェクト／長野県

KEESプロジェクト（長野）、NPO法人森の座（長野）、沖村製材所（長野）、こうあ木工舎（長野）、伊那まちの再生やるじゃん会（長野）、伊那市商工会議所（長野）

概要
信州伊那谷の間伐材アカマツを利用した、組み立て多用途ブロック「KEES」、0歳からの「KEESミニ」、収納・インテリアに幅広く使える「KEESBOX」「KEESワゴン」で半径10KM以内で地域の森林資源を循環させ、地域の森林資源に目を向け、地元愛を醸成するとともに、持続可能な地域づくりを目指すプロジェクト。

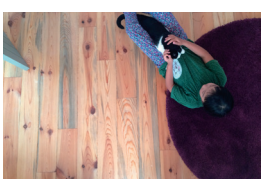
【体験・入手方法・概要サイト】KEESプロジェクト事務局 https://www.facebook.com/keesproject/　【費用】なし

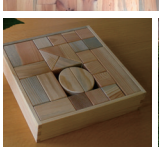
評価ポイント　林業従事者、製材所、木工所、商店で製品を開発、販売し、間伐材利用を進める面的取組。小中高校、大学との連携によってプログラム開発や実施など人材育成と地域愛の醸成にもつながっている。

ソーシャルデザイン部門 | ビジネスモデル　入賞36

安曇野ブルーステイン／長野県

林友ハウス工業株式会社（長野）





概要
安曇野ブルーステインは松枯れ被害木を利用し、自然由来のオシャレな青模様を持つ商品だ。アンティーク材に代表される「個性的な木材」を求めるニーズに幅広く対応する商品として、床板・壁板の内装材や積み木などの小物類を展開中。松枯れの周知を目的とした事業から一歩進んだ、価値のあるオシャレな商品として提案する。

【体験・入手方法・概要サイト】ソマミチオンラインショップ https://somamichi.stores.jp/または、弊社に直接お問い合わせ　【費用】内装材：床板・壁板 12,000円／坪（税別）　小物類：つみき8,800円、スツール18,000円、木箱3,800～8,500円（全て税込）

評価ポイント　松枯れ被害を受けた材は青が入って使い物にならないと林業業界では言われてきた。それを逆手にとって、新たなデザイン創発のきっかけにする意欲的な取組である。クリエイティブマインドを刺激しつつ、松枯れ問題に一石を投じる活動。

ソーシャルデザイン部門 | 普及・啓発（ツール・メディア）　入賞33

ウッドデザインパーク／愛知県

ニッカホーム株式会社（愛知）

概要
地元林業組合の方々と協力しながら、地元間伐材の活用し、内外装材の製作、それを用いた地域のコミュニケーションの場、社員の研修施設です。施設敷地内に川を作ったり、ツリーハウスを建てたりしています。また、間伐材の新たな可能性として、一般人でも簡単に施工が可能なDIY商品「ウッドタイル」を作っています。

【体験・入手方法】内装材大問屋（ウッドデザインパーク施設見学・DIY商品販売の問い合わせ）【概要サイト】http://park-reform.com/

評価ポイント　地元林業組合との協働による、杉や桧の間伐材を利用したテーマパーク。普及啓発拠点として多彩な工夫、情報発信を行ない社員研修施設の役割も担う。森林、林業と暮らしをつなげるプログラム開発に期待したい。

ソーシャルデザイン部門 | ビジネスモデル　入賞40

重川材木店の家づくりシステム／新潟県

株式会社重川材木店（新潟）

概要
自社で育てた40人の社員大工で年間40棟の注文住宅を手掛けています。地元新潟の越後杉を活用し、山で杉林を育林、運営する製材工場はバイオマス燻煙乾燥でCO2をカット、その材を活用し、手仕事を大切にした自然環境に優しい家づくりを行っています。

【体験・入手方法】重川材木店に問い合わせ　【費用】3,500万円（1棟あたりの標準的な価格帯）　【概要サイト】http://www.omokawa.co.jp/

評価ポイント　川上は杉林を自社で育成、川中は自社製材工場でバイオマス燻煙乾燥・製材、川下は顔が見える家づくり、というそれぞれの過程においてきちんと取組が見られる。地産地消の徹底ぶりが良い。

ソーシャルデザイン部門 | ビジネスモデル　入賞37

日本の森と里山を守り、人と生物を育む紙「里山物語」の取り組み／東京都

中越パルプ工業株式会社（東京）、特定非営利活動法人里山保全再生ネットワーク（長野）

概要
製紙業界随一の間伐材集荷量を誇る中越パルプ工業が、「紙だからこそできる」誰もが社会に貢献できる仕組みの紙が「里山物語」です。クレジット方式で間伐材を最大限に活用することで森林保全、紙代金に含む寄付金により里山で活動する団体を応援することで生物多様性保全を図ることができ、紙を使う誰もが、参加できます。

【体験・入手方法】従来の印刷用紙を「里山物語」と指定するだけで、誰でも容易に社会や環境に貢献できる。　【費用】約1,000,000円（里山寄付金運用実績）　【概要サイト】中越パルプ工業ウェブサイト http://www.chuetsu-pulp.co.jp/sustainability/activity/satoyama　里山物語公式サイト http://www.satoyama-paper.net/

評価ポイント　証明書付間伐材の積極活用で購入を通じて里山保全、生物多様性保全へ関わることができるプラットフォームを構築している。こうした製品の存在と流通自体がコミュニケーション行為となっている点で横展開の可能性を感じさせる。

ソーシャルデザイン部門 | 仕組み・ネットワーク（生産ー加工ー流通ー販売をつなぐもの）　入賞41

富士山地域材活性化プロジェクト／静岡県

一般社団法人富士山木造住宅協会 森林認証委員会（静岡）、株式会社マルダイ（静岡）、一般社団法人工務店サポートセンター（静岡）、富士ひのき加工協同組合（静岡）、株式会社ソマウッド（静岡）、日本製紙株式会社（静岡）

概要
SGEC森林認証取得。上記の認証に基づくオリジナルブランド「富士山桧輝」を開発。委員会の参加工務店には土台・柱に富士ひのきの利用を推奨。木こりツアー（植林・伐採・製材）年に3回開催。上記ツアー参加者の中から学習机の製作体験。

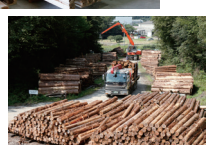
【体験・入手方法】木こりツアー（植林体験・伐採見学・製材見学）　入手方法：富士山木造住宅協会HP・会員HP　連絡先：森林認証委員会事務局　【費用】会費 50,000円 ツアー参加費 2,000円　【概要サイト】http://www.fuji-jbn.com/　http://www.fuji-jbn.com/forest/index.html

評価ポイント　林業関係者、製材、木材流通、プレカット工場、工務店が連携体制を構築し、商品開発、認証取得、普及に取り組む。一般消費者が理解しやすい啓発活動を重視、家づくりへの参画を促している。

ソーシャルデザイン部門 | ビジネスモデル　入賞38

親和生産システム／岐阜県

親和木材工業株式会社（岐阜）



概要
親和木材工業株式会社は、日本の面積の約7割を占める森林を「貴重な資源」として捉え、独自の生産システムを構築し、その資源を大切に利用することを提唱し、実践しています。丸太から、製材・乾燥・加工と一貫した生産体制により、その「貴重な資源」を創意工夫で余すところなく利用、活用し製品を全国へ販売します。

【体験・入手方法】親和木材工業株式会社 本社工場　【費用】なし　【概要サイト】http://www.shinwa-m.com/company/　http://www.shinwa-m.com/factory/

評価ポイント　仕組みそのものは同様の事例も見られるが、間伐材利用促進のため、製材から最終製品加工まで一貫生産の強みを活かし、真摯に付加価値化に取り組んでいる姿勢に共感する。

ソーシャルデザイン部門 | 仕組み・ネットワーク（生産ー加工ー流通ー販売をつなぐもの）　入賞42

オクシズネット／静岡県

オクシズネット（静岡）、静岡木材業協同組合（静岡）、静岡製材協同組合（静岡）、静岡市林業研究会（静岡）、静岡市産材活用推進情報センター「ききしず」（静岡）

概要
静岡市の中山間地域＝「オクシズ」。豊かな自然と歴史ある林業に育まれてオクシズの森林は立派な資源となりました。オクシズネットは静岡市産木材の有効利用をする製材・加工業者のネットワークです。

【体験・入手方法】事務局 静岡市葵区安西2丁目21番地 静岡木材業協同組合内　【費用】入会金10,000円 年会費30,000円　【概要サイト】https://www.facebook.com/okushizu.net/

評価ポイント　品質規格の確立及び受注体制の整備、プロモーション活動、森林認証材供給体制の確立などを行なう仕組みづくり。相談窓口を一元化し、提案型のコミュニケーションを行なっている点が非常に良い。

ソーシャルデザイン部門 | ビジネスモデル　入賞39

東京の森リノベーション／東京都

株式会社東京・森と市庭（東京）

概要
ストレスフルな都心のオフィス環境を、森の中のような快適な空間にリノベーションすることができれば、東京はもっと居心地の良い都市に生まれ変わる。東京の”都市”と”森”が相互に関わりあいながらこれからの東京をつくりあげていく、そんな空間づくりを提案しています。

【体験・入手方法】物件により異なる　【費用】物件により異なる　【概要サイト】http://mori2ichiba.tokyo.jp/

評価ポイント　東京の都市と森をつなぐコミュニケーションデザインが洗練されたものになっている。オフィスのリノベーションに産地である奥多摩での従業員向け体験プログラムも提案するなど巧みな仕掛けがとても良い。

ソーシャルデザイン部門 | マッチング・サポート体制　入賞46

宮崎県と川崎市の連携による取組 〜「崎ー崎モデル」による木材利用促進〜／神奈川県

川崎市（神奈川）、宮崎県（宮崎）

概要
宮崎県と川崎市の互いの特徴や強みを活かした連携・協力による新しい価値の創造モデル、「崎ー崎モデル」を構築することで、それぞれの地域の活性化と持続的成長に向けた取組を推進します。さらに、こうした取組を全国に発信することで、地方と都市の連携による都市の発展とともに、木材利用を一層促進してまいります。

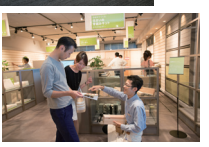
【体験・入手方法】川崎市まちづくり局総務部企画課 50kikaku@city.kawasaki.jp

評価ポイント　木を活かしたリノベーションなど、多様な分野の事業者のビジネスマッチングを行なっている。木質化による街のブランディング、雇用や新たなビジネスモデルの創出など連携による多くのメリットが期待できる。

ソーシャルデザイン部門 | 仕組み・ネットワーク（生産ー加工ー流通ー販売をつなぐもの）　入賞43

山からお客様にダイレクトに国産材を届ける仕組み “ビルナカ材木屋”／愛知県

株式会社ウッドフレンズ（愛知）



概要
「ビルナカ材木屋」は、木造住宅の構造材の樹種や工法を、一般消費者が自ら見て・触れて、選択・購入できる店舗です。自社工場を含めた提携工場のネットワークを利用して、原木の仕入れから製造・加工までを一貫体制で行うこと、ECサイトを活用して営業効率を高めることで、高品質な国産材を低価格で提供しています。

【体験・入手方法・概要サイト】ビルナカ材木屋（愛知県名古屋市中村区名駅三丁目28番12号 大名古屋ビルヂング10F） http://www.birunaka.jp　【費用】無料

評価ポイント　都心のオフィス内の木材利用のコミュニケーション拠点として、表現が巧みで洗練されている。一般消費者にはわかりにくい構造材の材種や工法を自ら選べる場所と機会を提供する機能は極めて有効だ。

ソーシャルデザイン部門 | 教育・研修システム　入賞47

自力建設プロジェクト／岐阜県

岐阜県立森林文化アカデミー（岐阜）

概要
さまざまな分野の学生が協同で作り上げる自力建設プロジェクトの効果的な教育手法。学内の木材を活用し、地域の職人さんの指導を受け、学生が主体的に学ぶべきことを理解し、建設する。さらには利用者として空間を評価し、手入れも行う。身をもって体感したことだからこそ、自信になり、自ら考え行動する原動力になる。

【体験・入手方法】授業の一環として実施（岐阜県立森林文化アカデミー 森と木のクリエーター科の学生）。一部、学外の方と協同で作業を行う場合があり、その都度呼びかけ。【費用】授業の一環として実施（通常の授業料以外の費用は必要なし）。一部、学外の方と協同で作業を行う場合があるが、その際も費用は発生しない。【概要サイト】http://www.forest.ac.jp/facilities/self/

評価ポイント　ワンストップで測量から建設まで、全ての過程を消費者に経験してもらう取組は希少で面白い。教育研修システムが備わっている点も有効。開始は2001年からと、継続性の点でも高く評価できる。

ソーシャルデザイン部門 | 仕組み・ネットワーク（生産ー加工ー流通ー販売をつなぐもの）　入賞44

福井県産材を活用したオフィス家具の開発／福井県

福井県（福井）、株式会社イトーキ（大阪）、福井県家具建具協同組合（福井）

概要
県の希少資源である黒スギの天板に、越前和紙を挟み込んだ福井県庁知事応接室の応接テーブル。豊かな自然環境に育まれた独特の色合いが魅力の黒スギと、卓越した技術と優れた品質で国の伝統的工芸品にも指定される越前和紙。その存在感と美しさが、空間を華やかに演出します。

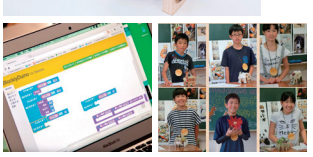
【体験・入手方法】試作品展示：福井県庁内1Fロビー及び1Fロビー掲示板と1F受付カウンターに展示
入手方法：家具建具組合及び株式会社イトーキにお問い合わせ　福井県 http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kensanzai/officekagu.html　イトーキ http://www.itoki.jp/　【概要サイト】http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kensanzai/officekagu.html　http://www.itoki.jp/products/econifa/

評価ポイント　県では「一企業一木質化」で民間企業での県産材の利用拡大と家具などの新たな分野での利用開拓を進めており、県産材によるオフィス空間の木質化のモデルである。地域資源を活用した新たな空間提案の参考例として優れた取組。

ソーシャルデザイン部門 | ワークショップ（人材育成）　入賞48

地域産業×創造性教育プログラム「ロボット動物園」／高知県

NPO法人イシュープラスデザイン（東京）、高知県佐川町役場（高知）、高知県佐川町立尾川小学校（高知）



概要
「ロボット動物園」は高知県佐川町立尾川小学校の六年生を対象にした、世界に一台のオリジナルロボット作りワークショップです。ロボットを作る過程で、地域産業やデザイン、電子工作、更にロボットを自由に動かすためのプログラミングを学びます。ロボット作りを通して様々な創造的スキルが身に付く教育プログラムです。

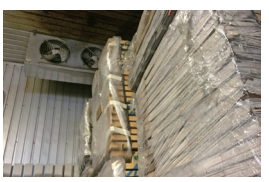
【体験・入手方法】高知県佐川町立尾川小学校の六年生を対象に、総合学習の授業として実施中。【費用】無料　【概要サイト】http://issueplusdesign.jp/project/robot-zoo/　http://www.miraikikin.org/activities/forestry/sakawa.html

評価ポイント　地域の産業である自伐型林業を学び、デザインを実際におこし、木育とプログラミングの合わせ技で実施されるプログラム。ITと木育を組み合わせた、さらに進化した展開に期待したい。

ソーシャルデザイン部門 | 仕組み・ネットワーク（生産ー加工ー流通ー販売をつなぐもの）　入賞45

コールドチェーンの構築／北海道

空知単板工業株式会社（北海道）



概要
弊社製品の極薄積層単板を住宅用フロアーに接着する際、生材の使用が有用ですが、木材は生材のままだとカビ、腐朽に侵されやすく、また乾燥すると収縮、割れ発生の懸念があります。生材製品の品質維持の為、冷凍保管や、製品の真空パック、保冷コンテナでの配送等、製造から流通までの保冷管理体制を確立しました。

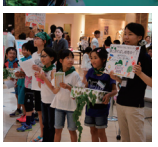
【概要サイト】http://www.sorachitanpan.com/product/

評価ポイント　生材の水分と温度、酸素の管理において、冷凍庫保管や真空パック、保冷コンテナでの配送など保冷管理体制を確立したモデル。ユーザーへ良い材を提供するための品質管理の先進例と言える。

ソーシャルデザイン部門 | ワークショップ（人材育成）　入賞49

ぼくらと森のかけはしプロジェクト／岐阜県

ぼくらと森のかけはしプロジェクト（岐阜）、NPO法人ミーツビジョン（岐阜）、有限会社大原林産（岐阜）、郡上わりばしプロジェクト（岐阜）



概要
本プログラムは、森林資源の有効活用について体系的に親子で学ぶ全4回の環境学習プログラムです。「木を伐って使う」ことの重要性を、実際に森の中で伐採作業を体験したり、森林資源を活用するお仕事をされる方々のお話を聞いたり、体感したりしながら学び、最後に森を守るために自分にできることを発表します。

【体験・入手方法】岐阜県内各小学校にチラシを配布、興味をもった子ども、保護者からハガキもしくはHP上の入力フォームから応募。毎年20組定員のところ40組程度の応募があり、最終的には抽選により参加者決定。【費用】参加費無料　【概要サイト】http://meets-vision.org/activity/forest/　https://www.facebook.com/bokumori/

評価ポイント　森林資源学習とものづくり、マーケティングまでトータルで学ぶプログラムになっている点が良い。木を使うだけではなく、木を使って消費者へどのようなものを届けるべきかという視点が盛り込まれている。

ソーシャルデザイン部門 | その他　入賞50

都市の木質化PJ／愛知県

名古屋大学 都市の木質化プロジェクト（愛知）、錦二丁目まちづくり協議会（愛知）、愛知県（愛知）

概要
次世代の「森づくり」と「街づくり」を目指して、都市部でマッシブな地域産木材を大量に使い、木材ファンの輪を広げる「人づくり」のプロジェクト。森の恩恵を享受する人びとが主役です。人びとが集う都市を舞台に、森と街の多彩なメンバーが協働し、都市の日常に、ありのままの木を、気楽な形で使っています。

【体験・入手方法】1か月に約1回程度の会合を開催し、木質化の企画・運営を行う。ウッドデッキ、塀、フローリングなど地域材を用いた木質化のご要望を随時募集（企画・施工にご参画いただき、協働作業）。錦二丁目でも、不定期に木質化の活動中。連絡先メールアドレス　woodismnagoya@gmail.com　【費用】参加費、入場料は基本的に無料　【概要サイト】名古屋大学都市の木質化PJ　http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~biomeng/toshimoku/index.html　都市の木質化 project（Facebook）https://www.facebook.com/toshimoku/

評価ポイント　木のある都市の風景を伝え、感じてもらい、ファンを増やすために、実際に街中に設置している点を評価した。社会実装の第一歩を踏み出していくきっかけになる。